



令和7年12月
富士市立幼稚園

もうすぐ冬休みがやってきます。「♪もう～い～くつねると～おしょうがつ～♪」の歌の中にあるように、凧揚げ、羽根つき、まりつき、こま回しなど、この時期ならではの『正月遊び』が楽しめますね。また、かるたやすごろく、福笑いなどの遊びを通して、親子、家族で会話を楽しみ、お子さんとの関わりがたくさんもてるといいですね。

<かるた>

物の名前や動きを表す言葉などを知ることができたり、普段聞きなれない言葉に触れられたりします。最後まで聞いてから取ると、聞く力もより育ちます。

★こどもの年齢等に合わせてカードの数を減らして簡単にすると、最後まで楽しめます。



<ことば遊び>

○が付く言葉探し（「あ」が付く言葉だったらアイス、あめ、あたま…など）やしりとり、逆さま言葉は、用意がなくてもすぐに遊べます。文字に興味をもつことにもつながります。

<すごろく>

ことばの教室では、数のサイコロの代わりに絵のサイコロを使っています。「かめ」の絵がでたら「㊦㊦」と言いながら2つ進みます。

絵のサイコロを使って遊ぶことで音韻意識が育ち、一つ一つの音をはっきり言えるようになります。

他にもすごろく遊びを通して、繰り返し数える中で数の理解につながったり、最後まで勝負が分からないので、粘り強く頑張る力が付いたりします。



音韻意識とは、例えば「りんご」という言葉を聞いた時、「り・ん・ご」という3つの音から成り立っていることが分かる力のことです。音韻意識が育つと、音にも注目できるため、正しい発音や、ひらがなの読み書きの基礎となる力になり、明瞭な発音につながります。